

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和5(2023)年度第2回みよし市保健対策推進協議会		
開催日時	令和5(2023)年1月29日(水) 午後1時30分から午後2時30分まで		
開催場所	みよし市役所2階 202会議室		
出席者	<p>(会長) 桜井充、(委員) 島典広、清水美代子、田代和久、石川邦子、藤田一良、雪江恵子、近藤義広、加藤隆茂、杉原孝子</p> <p>(事務局) 加藤こども未来部長、水野こども未来部次長兼こども政策課長、鈴木こども相談課長、藤森保険健康課長、小野田保険健康課主幹、野々山保健師長、中川保健師長、関根保健師長</p>		
次回開催予定日	令和6(2024)年3月頃		
問合せ先	<p>こども相談課 担当者名 関根 電話番号0561-76-5310 ファックス番号0561-34-4379 メールアドレスsoudan@city.aichi-miyoshi.lg.jp</p>		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録全文 ・議事録要約 	要約した理由	
審議経過	<p>1 あいさつ</p> <p>【事務局加藤こども未来部長】あいさつ</p> <p>【事務局鈴木こども相談課長】 (資料の確認)</p> <p>【桜井会長】あいさつ</p> <p>【事務局こども相談課長】 それでは議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては桜井会長にお願いします。</p> <p>【桜井会長】 (本日の出席委員は10名、会議は成立)</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 健康みよし21(第2次計画)について</p> <p>【桜井会長】それでは議題に従いまして、議事を進めて参ります。議題(1)健康みよし21(第2次計画)について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>【事務局野々山】 (健康みよし21(第2次計画)について説明)</p> <p>【桜井会長】ただいまの事務局の説明について、ご意見ご質問がございましたらお願いします。</p>		

【藤田委員】 特定健康診査の受診率の向上とあるが、高齢者だと定期的に病院にかかっている為、健康診査は受けない人もいるかと思うが、そういった人を考慮した割合を出した方がいいのではないのでしょうか。

【事務局野々山】 この受診率は、40歳から74歳の国民健康保険加入者が受けることのできる特定健康診査のみを対象にしています。市としては、定期的に病院にかかっている、年に一度は健診を受けるようにお願いしています。

【石川委員】 身体活動・運動をしている人の割合について、コロナ禍で行動が制限されていたことを考慮しているのでしょうか。

【事務局野々山】 今回の調査は特にコロナは考慮していません。コロナの時期に運動をやめてしまってそのままということが原因で数値が悪くなっている可能性があります。

【石川委員】 もしそうであれば、アンケートに運動量が減ってしまった要因を記載する項目を作ってもよいのではないのでしょうか。

【事務局野々山】 今回の資料は抜粋の為記載がありませんでしたが、市民にお配りしたアンケートにはコロナの影響でどうなったかについての設問がありますので、次回の会議までに用意します。

【清水委員】 対象者に答えてもらうアンケートは、いつの状況を回答してもらうようにお願いしていましたか。

【事務局】 調査内容は届いたときの状況を答えてもらう前提で作成しているので、期間指定の記載はありません。今現在の状況を回答していると捉えていただければと思います。

【島委員】 男女で回答が変わってくる可能性があるのですが、男女分けた方がいいと思います。例えば女性は社会活動が寿命に影響して、男性は運動と関連性が高いという研究結果があります。

【桜井会長】 たばこやお酒についても、男女で大きく変わってきてそうですね。

【事務局藤森】 今回は抜粋なので資料には記載なかったですが、アンケートの集計表には男女別で集計をしています。

【桜井会長】 範囲が多岐にわたっており、項目が多いのである程度まとめたほうがいいのではないかと。

【事務局野々山】 最終的には重要部分が抜粋された概要版を作成しますので、次の会議までに用意します。

【桜井会長】 それでは今のご意見を参考に、最終評価のまと

めをお願いいたします。引き続き議事に入ります。
議題2「みよし市自殺対策計画について」事務局より説明をお願いします。

【事務局中川】

(みよし市自殺対策計画について説明)

【桜井会長】 ただいまの事務局の説明について、ご意見ご質問がございましたらお願いします。

【清水委員】 図表3-1の専門相談窓口を利用しない理由として「利用することに抵抗がある」と回答している女性が50%以上を占めています。28ページの現状を踏まえた対策として「女性が気軽に相談できる窓口を周知」とありますが、相談することに抵抗がある女性が50%以上を占める中で気軽に相談できる窓口とは具体的にどのように考えていますか。

【事務局中川】 みよし市は子育て世代の20～30代の自殺の割合が少し多くなっており、子育てをしている女性の方から相談できる窓口を多く設けております。ご出産された方に対しては、お母さんからではなく市からアプローチすることで相談していただけたらと思っています。

【島委員】 アイデアとして30歳の歯科健診や予防接種の時等に、自殺予防の為の相談票等を設けてもいいのではないかと思います。

【事務局中川】 貴重なご意見ありがとうございます。実際の事業に反映させていただけたらと思います。

【杉原委員】 高齢者の自殺対策の推進体制の指標として、地域包括支援センターが行う実態把握調査件数とありますが、実態を把握するだけではなく、その調査を通じて相談を受け付けた件数や他機関と連携をした件数等少し踏み込んだ指標の方が自殺対策につながるのではないかと思います。

【事務局中川】 ケース会議に上がってくる方や相談を受けた方が自殺のリスクとしては高いことが考えられますので、指標について見直していこうと思います。

【桜井会長】 職員に対してのゲートキーパーの研修はどのような目的で行われていますか。

【事務局中川】 大学病院の心理士を講師としてお招きして、普段の業務で自殺のリスクが高い方と接することの多い窓口業務や、相談業務に携わる職員に研修を受けてもらい、業務に役立ててもらっています。

【桜井会長】 相談の内容によって担当する部署が異なるが、横の連携はできていますか。

【事務局中川】 庁内の部署については連携として進めており、

なにかケースがあった時には関係部署が集まってケース会議を行うなどして対応しております。

【桜井会長】 以上で、本日予定されておりました議事についての審議は全て終了いたしました。委員の皆様には、長時間にわたり慎重な審議を賜り、誠にありがとうございました。

それでは、会議の進行を事務局にお返しします。

【事務局鈴木】 ありがとうございました。今後、一週間ほどをめぐり意見がありましたら、事務局まで連絡をよろしくをお願いします。

以上で令和5（2023）年度第2回みよし市保健対策推進協議会を終了いたします。次回の開催は3月頃を予定しています。開催につきましては、出来るだけ早い時期にご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。